

歌と講演のつどい

令和8年5月24日(日) 13時半~16時半(開場13時)

湊川神社 神能殿

当日受付
入場無料

講演

皇居前広場 大楠公銅像献納の経緯

住友史料館 主席研究員 牧 知宏 先生

昭和52年(1977)愛知県岡崎市に生まれる。
平成22年(2010)博士(文学)学位取得。
平成21年(2009)住友史料館研究員。
令和2年(2020)より現職。
『住友史料館報 第46号』「楠公銅像の献納について」



演奏



©2026 HKM Enterprise Co.,Ltd.

スーパースtringスコーベ RUNE & JUNE



榎本瑠音(チェロ)、榎本樹音(ヴァイオリン)による姉妹デュオ。
佐渡裕氏が音楽監督を務める「スーパーキッズ・オーケストラ(SKO)」で研鑽を積み、京都市立芸術大学をそれぞれ首席で卒業後、スーパースtringスコーベへ入団。
クラシックをはじめ、ポップスやロックまで幅広いジャンルを自在に表現し、情熱あふれる演奏で多くの聴衆を魅了している。
スーパースtringスコーベは、スーパーキッズ・オーケストラ(SKO)の卒業生のみで構成された弦楽オーケストラ。国内外で活躍する若き精鋭たちが集い、瑞々しい感性と確かな技術に裏打ちされた演奏で、高い評価を得ている。
毎年12月27日には、年末の神戸の風物詩ともなる「定期公演」を神戸新聞松方ホールにて開催し、多くの聴衆を集めている。

合唱

楠公歌の会

楠公歌の会は、平成17年に「美しい日本の心の歌」を歌い繋いでいきたいと思います、との呼びかけで発足しました。楠の緑に包まれた湊川神社において月2回の練習をしています。

この会で歌う四季折々の懐かしい歌は、改めて日本文化の素晴らしさを私たちに教えてくれます。この心に響く歌を私たちの演奏でお伝えできればと願っております。

どうぞ皆様もご一緒に歌ってみませんか。会員募集しております。



【主催】湊川神社楠木同族会 【共催】湊川神社 【後援】(公財)神戸市民文化振興財団、神戸新聞社、産経新聞神戸総局、読売新聞神戸総局
【お問合せ】湊川神社楠木同族会事務局(湊川神社内) TEL.078-371-0001 FAX.078-371-1920

湊川神社

神戸市中央区多間通3-1-1 <https://www.minatogawajinja.or.jp/>

JR「神戸駅」/阪急・阪神・山陽各線「高速神戸駅」/地下鉄「大倉山駅」/「ハーバーランド駅」各駅下車徒歩すぐ

講演の趣旨

明治6年1月(1873)住友家12代当主住友友親は、創建間もない湊川神社に別子銅を用いた燈籠2基を奉納しました。

明治22年(1889)末、住友初代総理事廣瀬幸平は、翌年別子銅山開坑200周年を控え、13代当主住友友忠と語り、別子銅山産の純紫銅を用いて報国感恩の精神を以て銅像を製作し、宮内省に献納することを企図しました。

製作は、岡倉天心が校長を務めることになる、開校間もない東京美術学校(のちの東京藝術大学)に依頼しました。「楠公乗馬銅像」の木型製作は、頭部を高村光雲、胴体部分を山田鬼斎・石川光明、馬の部分を後藤貞行(上野・西郷隆盛銅像の犬像と西宮神社青銅神馬製作者)が担当しました。木型をもとに騎馬像を7分割に鋳造したのが岡崎雪聲・杉浦瀧次郎。台座(片山東熊設計)は、宮内省にて築造されたのち、銅像の据え付けがなされ、現在の皇居外苑に明治33年(1900)7月10日竣工、14日に宮内省へ献納されました。

製作当時、銅像彫刻は洋風彫刻でなければ出来ないと考えられていた時代でした。日本には工部美術学校でヴィンチェンツォ・ラゲーサのもとで西洋彫刻を学び、本場イタリアで騎馬彫刻を修得した、大熊氏廣(靖國神社・大村益次郎像製作者)がいました。

皇居前広場の大楠公銅像は、あえて日本固有の美術の保護・育成を目指し、伝統的な木彫りの木型で銅像を製作することにこだわって製作されたものです。

大楠公銅像の献納は、200年にわたり別子銅山を経営してこられたことへの感謝のしるしに、住友の文化社会貢献活動の一つとして行われました。およそ10年間の大楠公銅像献納にまつわるさまざまなエピソードを一次史料をもとにお話していただきます。



御殉節地前にある燈籠



「住友友親」銘のある竿



本殿西側にある石造基礎



「住友吉左衛門」銘のある石造基礎

スーパースtringスコーベ RUNE & JUNE



チェロ
ひつもとるね
櫃本瑠音(姉)

2011年度SKO卒。
大阪府出身。京都市立京都堀川音楽高等学校、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻首席卒業。
第66回全日本学生音楽コンクール大学生部門優勝。第86回日本音楽コンクールチェロ部門本選入選、岩谷賞受賞。第8回ピハホールチェロコンクール第2位及び聴衆賞。2014年佐渡裕指揮、シエナ・ウインド・オーケストラと共演。平成27年度青山財団奨学生。2018-19年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2021年パリ地方音楽院首席卒業。パリオペラ座管弦楽団アカデミー生。2023年日本コロムビアOpus Oneレーベルよりデビューアルバムをリリース、レコード芸術特選盤に選定。京都市交響楽団、大阪交響楽団、神奈川フィルハーモニー等で客演首席を務める。2025年4月、佐渡裕指揮、新日本フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会にソリストとして出演。
国内の主要なプロオーケストラのゲストソリストとして活躍するなど、日本の音楽界を牽引するプレイヤー。



ヴァイオリン
ひつもとるね
櫃本樹音(妹)

2012年度SKO卒。
大阪府出身。京都市立京都堀川音楽高等学校弦楽専攻首席卒業。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻首席卒業。
2014年第19回神戸国際コンクール優秀賞、神戸市教育委員会賞受賞。マキシム・ヴェンゲーロフ&ヤングアーティスト公演に出演。ガブリエル・リプキンのマスタークラスを受講。第17回日本演奏家コンクールにて特別賞受賞。2016年青山財団奨学生。2017年3月小澤征爾音楽塾に出演。2017年よりスーパースtringスコーベに在籍。姉妹デュオ「RUNE&JUNE」としても精力的に活動している。2021年東京にてリッカルド・ムーティーオペラアカデミー参加、オーストリアグラフェネックアカデミー参加。ニュルンベルク音楽大学のマスターコースにて元ウィーンフィルコンサートマスターのダニエル・ゲーテに師事。2021年佐渡裕/反田恭平 with ジャパン・ナショナル・オーケストラ 特別編成に参加。
兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のコアメンバーとして活躍中。